

江良歯科新聞

編集
990-0075
山形市落合町
字二口203-1
江良歯科医院
江良謙次

歯周病のこと知ってますか？

あなたは知っていましたか？

三五歳以上の八割が歯周病！

歯周病は自覚症状がなく、いつの間にか「じわっと」歯を支えている骨が溶けてしまふ病気です。気がついたら歯がぐらぐらなることになる前に歯周病検査を受けましょう。

どうして歯周病になるかという点、慢性的に歯肉に炎症が起こることから始まります。炎症を起こす細菌はどこからくるかと言うと、歯に付着する食べ物の垢から細菌が出てきます。始めは柔らかい歯垢(プラーク)というものです。



歯周病
periodontal disease

今現在、本歯科医院で行っている歯周病の治療は、歯周組織の検査と歯肉辺縁に付着している歯石除去さらにはポケット直下には付着している歯石の除去とブラッシングの方法について

これらの方法で落ち着く場合があります。しかし溶けてなくなっ

歯周病の治療方法

指導を行っています。た歯槽骨が元に戻るぐらぐらしている歯は、ある程度ならこ

には、ぐらぐらして歯を隣の歯と固定する方法もありま

この歯垢が歯や歯と歯肉の境目に付きます。そうすると、この歯垢から出た細菌が歯肉に炎症を起こし、ポケットが少しずつ深くなってきました。これが硬くなると歯石になります。歯石の中では細菌が巣くついでいて、この細菌が出す毒素が歯周病の原因と考えられています。これが「じわ」と歯を支えている歯槽骨を溶かします。昔は「りんごをかじると血が出ませんか」が歯周病のキャッチフレーズでした。

歯周病の原因 それは歯垢(プラーク)です

歯周病の初期では歯を磨いたときに血がでたり、歯茎がムズムズするような感じがあります。りんごをかじると血が出る

ですが、これをするためでない歯もいっしょに動き始めることがあります。あまり勧められない方法とはいえません。とにかくこれ以上に歯周病が進まないようにすることが一番大切です。

歯周治療いつやるの？ 今でしょ！

歯周病は歯に付着した歯垢(プラーク)によって引き起こされた感染症だということですが、歯と歯茎の間には膿が出る状態になると、口臭が起

てきます。歯科衛生士さんによる歯と歯茎の間の歯垢を除去すること、場合によっては麻酔して歯垢を除去する専門的な機械清掃が必要になることがあります。その様な方法で歯肉を健康な状態に戻すことが可能です。歯周治療をいつやるか？それは今でしょ！

歯周病と喫煙

タバコを吸っている方は、タバコの中の煙に含まれるニコチンなどが、歯肉に流れている毛細血管を収縮させ歯肉の虚血状態を起こし炎症が起き易くなると言われています。確かにタバコを吸っている方は歯肉の色が黒

の治療が遅かったりします。タバコを吸っている方は口腔粘膜の抵抗力が落ちているのでしよう。喫煙をやめない限りは歯周病は治らない歯周治療は成功しないと報告もあります。

歯周病は血管の病気です

糖尿病の方は歯周病になりやすいです。これは血管が脆くなっているからだと言われています。糖尿病になるとちよつとした傷からも感染し易いとも言われています。血糖値のコントロールは歯周病にも大きく影響します。

タバコはできる限り吸わない

ぼかったり歯周病が必ずあります。また口内炎がなかなか治らなかつたり抜歯後